

**キリングroup
2013年12月期第3四半期決算**

2013年10月30日
キリンホールディングス株式会社

エグゼクティブサマリー

- 対前年増収増益 1－9月連結業績は計画どおりの進捗
引き続き年間営業利益目標の達成を目指す
- 海外において日本の知見・技術を活用した新商品を順次投入
- 2013年定量目標達成に向け、引き続きグループ戦略課題に取り組む

<定量目標の進捗>

	第3四半期実績	2013年目標
平準化EBITDA（億円）	2,249 （対前年 +2.9％）	3,140 （同 +2.2％）
平準化EPS（円）	91 （同 +18.2％）	123 （同 +5.1％）

第3四半期業績ハイライト

対前年増収増益 1－9月連結業績は計画どおりの進捗。引き続き年間営業利益目標の達成を目指す

		2013年 (億円)	2012年 (億円)	対前年増減 (億円) (%)	
売上高	日本総合飲料	8,710	8,747	▲37	▲0.4
	海外総合飲料	5,101	4,236	865	20.4
	医薬・バイオケミカル	2,450	2,380	70	3.0
	その他	512	696	▲183	▲26.4
	売上高	16,776	16,061	714	4.5
営業利益	日本総合飲料	481	480	1	0.3
	海外総合飲料	184	170	14	8.5
	医薬・バイオケミカル	433	392	41	10.5
	その他	29	27	2	7.8
	営業利益	1,074	1,052	22	2.1
経常利益	持分法による投資損益	15	▲16	31	—
	経常利益	996	912	84	9.3
税金等調整前四半期純利益	特別損益	467	▲59	527	—
	税金等調整前四半期純利益	1,464	852	612	71.8
	四半期純利益	836	253	582	229.7

※2013年より報告セグメントの区分を変更

- 海外の売上高が順調に増加したほか、国内清涼飲料の販売好調も増分寄与
 - － ライオン +20.1%
 - － ブラジルキリン +21.5%
 - － キリンビバレッジ +5.3%
- 海外総合飲料が増益。酒類事業の堅調な業績と為替効果によりライオン社が大幅増（+89億円）
- 医薬・バイオケミカル事業は、国内医薬品の販売が堅調に推移したほか、プロストラカン社の業績が順調に伸長。為替も寄与し増益（+41億円）

日本総合飲料

営業利益は前年水準を確保。引き続き年間目標の達成を目指す

		2013年 (億円)	2012年 (億円)	対前年増減 (億円) (%)	
売上高	キリンビール	5,383	5,555	▲172	▲3.1
	キリンビバレッジ	2,644	2,512	131	5.3
	メルシャン	457	469	▲12	▲2.6
	その他	225	209	15	7.4
	売上高	8,710	8,747	▲37	▲0.4
営業利益	キリンビール	392	406	▲13	▲3.3
	キリンビバレッジ	30	45	▲14	▲31.6
	のれん償却額	▲14	▲14	▲0	—
	計	15	30	▲14	▲47.2
	メルシャン	▲4	4	▲9	—
	その他	77	39	38	98.0
	営業利益	481	480	1	0.3

- 重点ブランドの一層の強化に取り組むとともに、お客様への新しい価値の提案を強化

トピックス

- キリンビバレッジが販売好調（対前年+8%）
 - ソルティライチが熱中症対策で大ヒット
 - 午後の紅茶おいしい無糖の飲用シーン拡大
 - カフェデリでパッケージコーヒーの新たな可能性に挑戦
- 輸入デイリーワインを中心にワインの販売が着実に伸張（対前年+3%）
- 新商品「澄みきり」の販売目標を上方修正
- 一番搾り生ビール大樽が前年プラスで推移



好調な酒類事業が牽引し、大幅増益を達成

		2013年		2012年		対前年増減		対前年増減(%)	
		億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円へーズ	AUDへーズ
	酒類	1,869	2,011	1,410	1,727	459	284	32.6	16.5
	飲料	1,704	1,833	1,565	1,917	138	▲83	8.9	▲4.4
売上高		3,573	3,845	2,975	3,645	598	200	20.1	5.5
	酒類	503	541	366	449	136	92	37.2	20.5
	飲料	57	61	45	56	11	5	24.2	9.1
	本社費用	▲66	▲71	▲52	▲64	▲13	▲7		
のれん等償却前営業利益		493	530	359	440	133	89	37.1	20.4
のれん償却額		▲229	▲247	▲189	▲231	▲40	▲15		
ブランド償却額		▲31	▲34	▲28	▲35	▲3	1		
営業利益		231	249	141	173	89	75	63.1	43.3

	販売数量 (対前年)
酒類	+6.8%
飲料	▲4.4%

酒類	営業利益増減 (百万AUD)	飲料
449	2012年	56
59	販売数量増減	▲23
33	その他	29
541	2013年	61

連結期間：2012年10月～2013年6月
為替レート：92.94円（前年同期：81.64）

酒類事業

- 基盤ブランドの販売堅調に加えて成長カテゴリーも好調に推移。販売数量が増加、商品ミックスも向上

飲料事業

- 高付加価値商品ブランド強化と構造改革を継続推進、収益性が改善



豪州No.1ビールブランド
フォー・エックス・ゴールド



成長カテゴリー
輸入プレミアム(左)・クラフト(右)



販売好調な乳飲料
デア（豪州No.1乳飲料ブランド）

ブラジルキリン



おいしさを笑顔に
KIRIN

市場の成長が鈍化するなか、対前年増収を達成

	2013年		2012年		対前年増減		対前年増減（％）	
	億円	百万レアル	億円	百万レアル	億円	百万レアル	円ベース	レアルベース
売上高	1,240	2,733	1,020	2,467	219	266	21.5	10.8
のれん等償却前営業利益	6	14	82	198	▲75	▲184	▲92.1	▲92.8
のれん償却額	▲40	▲88	▲69	▲168	29	79		
ブランド償却額	▲23	▲52	—	—	▲23	▲52		
営業利益	▲57	▲127	12	30	▲70	▲157	▲560.9	▲520.3
EBITDA	100	221	144	350	▲44	▲129	▲30.6	▲36.9

	販売数量 (対前年)
ビール	+2.2%
清涼飲料	▲0.6%
合計	+1.2%

連結期間：2013年1月～9月

為替レート：45.38円（前年同期：41.38）

- 低プレゼンスエリアにおいて、顧客接点の拡大に取り組み販売数量を伸ばし、増収に寄与
- 営業利益（対前年▲184百万レアル）：
 - (1) ブラジル国際会計基準に基づく資産・負債の再評価に伴う減価償却費の増加▲52百万レアル
 - (2) 実質▲132百万レアル。サプライチェーンの効率化等により粗利は増加するも、戦略的ブランド投資等により販管費が増加
- 消費者キャンペーン等の販売強化策を既に実施しており、引き続き最盛期におけるプレゼンス最大化に向け取り組む



主力ビールブランド
(左から) デヴァッサ、
ノヴァ・スキン、
スキン・ノ・グラウ



主力飲料ブランド
スキン（ガラナ、コーラ、
シトラス ほか）

トピックス：海外において日本の知見・技術を活用



Dare Cold Pressed



キリンのパッケージング技術をライオン社主力飲料ブランドに活用。豪州初のボトル缶投入による、お客様への新しい飲用シーンの提案

KIRIN Cider 薫り



豪州で急成長するサイダーカテゴリーに対する、初のキリンブランド上市



KIRIN fibz



キリン メッツ コーラの開発ノウハウを活用した、ブラジル初となるファイバー入りコーラ／ガラナ飲料

参考：定量目標明細

(平準化EBITDA)

(億円)

	2013年	2012年
営業利益	1,074	1,052
減価償却費	739	718
のれん償却額	362	356
持分法適用関連会社からの受取配当金	72	58
平準化EBITDA	2,249	2,185

(平準化EPS)

(億円)

	2013年	2012年
四半期純利益	836	253
のれん等償却額	493	466
税金等調整後特別損益	▲464	15
平準化四半期純利益 ①	865	736
期中平均株式数(千株) ②	948,512	961,710
平準化EPS(円) ①÷②	91	77

おいしさを笑顔に

KIRIN

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or
sell securities or related financial instruments.